


令和8年3月31日

多治見市議会議長

仙石 三喜男 様

会派名 市民クラブ

経理責任者名 若尾 敏之  (※)

(※)本人が自署しないときは、押印してください。

令和7年度政務活動費収支報告書について

多治見市議会政務活動費の運用に関する規程第4条第1項に基づき、  
別紙のとおり令和7年度政務活動費収支報告書を関係書類を添えて提出します。



## 令和7年度政務活動費収支報告書

会 派 名 市民クラブ

## 1 収 入

政務活動費 208,000 円

## 2 支 出

項 目	金額 (円)	備 考
研究研修費	178,840	①8/4~8/5「地域の足」が無くなる？ 交通空白解消セミナー ②10/8~10/10第 87回 全国都市問題会議
調査活動費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費	72	コピー代
資料購入費	15,070	①自治六法 令和8年版 ②地方自治関 係実例判例集 普及版 第16次改訂版 ③首長たちの戦いに学ぶ 災害緊急対応 100日の知恵
広報費		
その他の政務活動費		
合計	193,982	

3 残 額 14,018 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

多治見市議会議長

仙石 三喜男 様

会派名 市民クラブ  
経理責任者名 : 若尾 敏之 (※)

(※)本人が自署しないときは、押印してください。

### 政務活動費支出状況報告書(4月～6月)

多治見市議会政務活動費の運用に関する規程第3条第3項の規定により、次のとおり政務活動費の支出状況を報告します。

記

番号	年月日	摘要	交付金額 (円)	支出額 (円)	残高 (円)
1	R7.6.30	交付金	208,000		208,000
2					
3					
4					
5					
6					
7					
計			208,000	0	208,000



令和7年9月28日

多治見市議会議長

仙石 三喜男 様

会派名 市民クラブ

経理責任者名 若尾 敏之

(※) 本人が自署しないときは、押印してください。

### 政務活動費支出状況報告書（7月～9月）

多治見市議会政務活動費の運用に関する規程第3条第3項の規定により、次のとおり政務活動費の支出状況を報告します。

#### 記

番号	年月日	摘要	交付金額（円）	支出額（円）	残高（円）
1		繰越金	208,000		208,000
2	2025/ 8/4～8/5	研修旅費・負担金等（「地域の足」が無くなる？交通空白解消セミナー）		96,450	111,550
3					
4					
5					
6					
7					
計			208,000	96,450	111,550



別紙様式⑤（研究研修費の報告）

令和7年 9月 8日

多治見市議会議長  
仙石 三喜男 様

多治見市議会 会派名 市民クラブ  
参加者代表 若尾 敏之

政務活動費の使用について（報告）

下記の研修会に参加し、政務活動費を使用したので報告します。

記

1. 日 時 令和7年8月4日（月）～ 5日（火） 2泊 3日
2. 主 催 地方議員研究会
3. 研修会名 「地域の足」が無くなる？交通空白解消セミナー
4. 開催場所 東京都新宿区西新宿7丁目21-3  
リファレンス西新宿大京ビル2階
5. 参加者名 若尾 敏之  
以上 1名
6. 研修の概要 別紙のとおり（目的・研修結果・所感・資料等）
7. 費 用 96,450円（旅費額+負担金・振込手数料等）  
（別紙支出明細一覧表添付）



旅 費 額	多治見市旅費規定による 旅費額（上限）	負担金・振込手数料等
35,900円	41,540円	60,550円

35,900円 ≤ 41,540円



# 研修会 行程表

- [1] 実施日 : 令和7年8月4日(月)～5日(火)
- [2] 参加者 : 若尾 敏之
- [3] 研修先 : リファレンス西新宿大京ビル2階
- [4] 研修名 : 「地域の足」が無くなる?交通空白解消セミナー
- [5] 行程 :

[8月4日(月)]

多治見駅	⇒	名古屋駅	⇒	品川駅	⇒	新宿駅	⇒
出発	中央線	到着 出発	のぞみ	到着 出発	山手線	到着 出発	メトロ
6:31		7:15 7:29	288	8:59 9:10	外回り	9:31 9:37	丸ノ内

西新宿駅	⇒	研修会場	⇒	西新宿駅	⇒
到着 出発	徒歩	到着 視察 出発	徒歩	到着 出発	メトロ
9:39 9:40		9:45 10:00 ~ 16:00 16:10		16:15 16:19	丸ノ内

新宿駅	⇒	目白駅	⇒	ホテル
到着 出発	山手線	到着 出発	徒歩	到着
16:21 16:28	外回り	16:34 16:35		16:40

[8月5日(火)]

ホテル	⇒	目白駅	⇒	新宿駅	⇒
出発	徒歩	到着 出発	山手線	到着 出発	メトロ
8:50		9:00 9:24	内回り	9:31 9:37	丸ノ内

西新宿駅	⇒	研修会場	⇒	西新宿駅	⇒
到着 出発	徒歩	到着 視察 出発	徒歩	到着 出発	メトロ
9:39 9:40		9:45 10:00 ~ 16:00 16:10		16:15 16:17	丸ノ内

新宿駅	⇒	東京駅	⇒	名古屋駅	⇒	多治見駅
到着 出発	中央線	到着 出発	のぞみ	到着 出発	中央線	到着
16:18 16:28		16:42 20:21	91	21:56 22:07		22:43

旅 費 明 細 ※旅費上限額計算用

所 属 市民クラブ  
氏 名 若尾 敏之  
年 度 令和7年度

旅行先	東京都新宿区 リファレンス西新宿大京ビル							
用 務	「地域の足」が無くなる？交通空白解消セミナー							
旅行期間	自	7	年	8	月	4	日	(月)
	至	7	年	8	月	5	日	(火) 1泊 2日

旅費区分	積 算 明 細						金 額
鉄 道 賃	多治見	～	名古屋	～	東京	6,600 円	
		～		～		円	
		～		～		円	
		～		～		円	
	東京	～	名古屋	～	多治見	6,600 円	
		～		～		円	
	小計		13,200 円×		1 人=	13,200 円	13,200 円
特 急 急 行 料 金	名古屋	～	東京			4,920 円	
	東京	～	名古屋			4,920 円	
		～				円	
		～				円	
	小計		9,840 円×		1 人=	9,840 円	9,840 円
日 当	2,600 円×		2 日×		1 人=	5,200 円	
	円×		日×		人=	0 円	
	円×		日×		人=	0 円	
							5,200 円
宿 泊 料	13,300 円×		1 泊×		1 人=	13,300 円	
	円×		泊×		人=	0 円	
							13,300 円
船 空 航 賃 車 賃	～				人=	0 円	
	～		円×		人=	0 円	
	～		円×		人=	0 円	
			円×		人=	0 円	0 円

<備考>

合計額	41,540 円
-----	----------

# お取引明細票

ご利用ありがとうございました

東濃信用金庫

広小路支店

お取引日時 2025/07/04 13:32

お振込 (振替) ¥60,000\*

手数料 (ご依頼人負担) ¥550\*

お振込依頼内容

支店

お受取人 カ)エフスリーオー 様

ご依頼人 タジミシキカイ シンクラブ ワカトシキ 様



No. 002-F

領収証

2025 年 8 月 4 日

多治見市議会 市民クラブ 若尾敏之 様

★ ¥60,000

但 8/4「交通空白」と地域公共交通の役割①  
8/4「交通空白」と地域公共交通の役割②  
8/5 ライドシェアと自動運転の基礎と課題  
8/5 交通崩壊の解決策としての地域公共交通への投資  
研修会受講代として  
上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒221-0042  
神奈川県横浜市神奈川区浦島町2-29  
TEL 050-1089-9835



駅-No 530512 領収書-No 55  
窓口-No 2  
領 収 書

振付が若尾敏之 様

金額 ￥23,040円  
「消費税等込み・10%」

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2025年 7月23日  
東海旅客鉄道株式会社  
登録番号: T3180001031569

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納  
付につき名古屋中村  
税務署承認済

多治見駅

現金出納社員

東京メトロ 領収書

ご利用ありがとうございます。  
この領収書は大切に保存してください。

お取引内容: きっぷ ￥180\*

上記金額を領収いたしました。

\* 課税10%対象

ご利用日付 2025年08月04日  
時刻 09時36分

伝票番号: 16157  
東京地下鉄株式会社  
登録番号: T4010501022810  
地 新宿駅 券04発行

8/4

新宿馬車 → 西新宿駅

東京メトロ 領収書

ご利用ありがとうございます。  
この領収書は大切に保存してください。

お取引内容: きっぷ ￥180

上記金額を領収いたしました。

ご利用日付 2025年08月05日  
時刻 09時34分

伝票番号: 00384  
東京地下鉄株式会社  
西新宿駅 券01発行

8/5

西新宿馬車 → 新宿馬車

領収書

No. 00001307-00  
2025/08/04

多治見市議会市民クラブ若尾敏之 様

金額 ￥12,500-

但し  お部屋代として  施設利用料として  
 その他( )として 上記正に領収いたしました。

印紙税申告納  
付につき玉川  
税務署承認済

《内訳》

10%	税込金額	12,500円
	税	1,100円
5%	税込金額	0円
	税	0円
非課税	金額	0円

《決済方法》

現金・ポイント・電子マネー・QRコード  
 クレジット (内クレジット 円)  
 その他( ) 円

アールエヌティーホテルズ株式会社

本社 東京都世田谷区桜新町一丁目34番6号  
登録番号: T1010901015937  
リッチモンドホテル 東京目白  
〒171-0031  
東京都豊島区目白3-5-14  
TEL: 03-3565-4111

担当印



# 会派視察・研修報告書

会派名 市民クラブ

代表者名 若尾敏之

1 日 に ち	令和7年8月4日（月） 10時00分～12時30分
2 視 察 先 研修名、主催者及び会場	研修名：「地域の足」が無くなる？交通空白解消セミナー 主催者：地方議員研究会 会場：リファレンス西新宿大京ビル2階
3 参 加 者	若尾敏之
4 調査研修の テーマ	～地域からバス、電車、タクシーが無くなる？ 今地方議員が取り組むべき課題～  「交通空白」と地域公共交通の役割 ①
5 主な内容	<p>①地方都市と地域公共交通の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方都市の人口と高齢化の現状</li> <li>・高齢者の免許保有と免許返納</li> <li>・送迎される人は移動には困っていない</li> <li>・移動に困っている人の解像度を上げる</li> <li>・地域公共交通の負のスパイラル</li> <li>・バス運転士不足の実態と支援策</li> <li>・公共交通空白地域の拡大</li> <li>・徒歩移動の許容距離と時間の違い</li> </ul> <p>②地域公共交通の定義と役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通の定義（地域公共交通活性化・再生法）</li> <li>・地域公共交通に求められる役割と価値</li> <li>・高校生のバス通学支援（中津川市）</li> <li>・通学補助の価値の捉え方</li> <li>・通学定期をターゲット（ひたちなか海浜鉄道）</li> <li>・観光客の公共交通利用</li> <li>・来訪者のための利用案内（京都市）</li> <li>・公共交通の確保・維持とまちづくりの関係</li> <li>・公共交通の利用と中心市街地の活性化（岐阜市）</li> <li>・商店との連携によるにぎわいの創出（松本市）</li> <li>・公共交通ネットワークの整備による健康への効果</li> <li>・立地適正化計画との連携によるコンパクトプラスネットワーク</li> <li>・地域公共交通は誰が維持するのか（地域公共交通活性化・再生法）</li> </ul>

5 主な内容	<p>③地域公共交通のまちづくりに与える効果 愛知県瀬戸市の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域公共交通はまちづくりの手段</li> <li>・ 瀬戸市の地域公共交通の概要</li> <li>・ 菱野団地の概況（人口・高齢化）</li> <li>・ 高齢化の進行により顕在化した移動の課題</li> <li>・ 市民ワークショップ（30人）</li> <li>・ 運行協議会・住民説明会（100人）</li> <li>・ 住民バスの運行ダイヤと走行ルート</li> <li>・ 目的に合わせて柔軟なダイヤ・ルート変更</li> <li>・ 住民バスの運行ダイヤと走行ルート成功との相乗効果</li> <li>・ 巡る交通による地域活性化</li> <li>・ 菱野団地再生検討ワークショップ</li> <li>・ 未来の菱野団地をみんなで作る会（みんなの会）</li> <li>・ 多様な課題と目的の共有による合意形成</li> <li>・ コミュニティ交通への関わり方</li> <li>・ 話し合うのに何が必要か</li> <li>・ 地域公共交通のトリセツ（取組説明書）はじめました</li> <li>・ 「地域で考える移動の仕組み8STEP」書きました</li> </ul>
6 所感、提言事項 課題等	<p>人口と高齢化の現状をみていると全体の人口は減少、高齢者の人口は増加している。しかし5万人以下の市町村では高齢者の人口は減少している。</p> <p>高齢化率上昇の原因は高齢者が増えたからではなく若者の減少が影響していることがわかる。男女別の運転免許の保有率は高齢者になるほど差が大きい。免許の返納数も上がっておらず今後は免許を保有している高齢者が増加する。現在免許を保有している高齢者は男女差があり女性の保有率が低い。今公共交通の行き届かない部分に取り組む必要はあるが今後は免許を保有している高齢者が増加するので公共交通施策も必要だが、今やらなければならない事と10～20年後にやらなければならない事を見据えて取り組む必要がある。</p> <p>日常生活の中の送迎の負担については移動の問題が家庭内の問題に隠されているという日常で特に考えていなかった問題を提起されました。</p> <p>送迎負担の男女比は8割女性という。女性が送迎するのは夫・子ども・親であり、自身の仕事にも影響が出ているので、注視すべきと指摘されました。</p>

# 会派視察・研修報告書

会派名 市民クラブ

代表者名 若尾敏之

1 日 に ち	令和7年8月4日(月) 13時30分～16時00分
2 視 察 先 研修名、主催者及び会場	研修名：「地域の足」が無くなる？交通空白解消セミナー 主催者：地方議員研究会 会場：リファレンス西新宿大京ビル2階
3 参 加 者	若尾敏之
4 調査研修の テーマ	～地域からバス、電車、タクシーが無くなる？ 今地方議員が取り組むべき課題～ 「交通空白」と地域公共交通の役割 ②
5 主な内容	<p>①地域公共交通活性化再生法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通関連の法制度の変遷</li> <li>・地域公共交通会議と法定協議会</li> <li>・2020年法改正の概要</li> <li>・地域公共交通利便増進事業の概要</li> <li>・路線バスの競合</li> <li>・独占禁止法の適用除外</li> <li>・共同経営の実施事例〔熊本市〕</li> <li>・地域旅客輸送サービス継続事業の概要</li> </ul> <p>②活性化再生法から地域交通法へ 2023年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交通法（呼び方も変わりました）の改正 2023年</li> <li>・JR西日本ローカル線の利用状況の公表</li> <li>・ローカル鉄道の再構築のイメージ</li> <li>・ローカル鉄道の再構築に関する仕組み</li> <li>・エリア一括協定運行事業による主体的なサービス設計</li> <li>・委託方法と役割分担の見直し〔松本市〕</li> <li>・バス・タクシー等における交通DX・GXの推進</li> <li>・地域公共交通再構築事業（社会資本整備総合交付金）</li> <li>・鉄道・タクシーの協議運賃制度の創設</li> <li>・協議運賃制度の活用方法</li> <li>・運賃等の協議の取り扱いの変更（運賃協議会）</li> </ul> <p>③地域公共交通計画の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合連携計画・網形成計画から地域公共交通計画へ</li> </ul>

5 主な内容	・ 計画策定と地域公共交通への補助要件の変更	
	・ 地域公共交通計画に記載すべき事項	
	・ 移動する目的によって異なる交通圏・生活圏	
	・ 移動の仕組みの分類	
	・ その仕組みを選ぶ理由は何か？	
	・ 地域に合わせた交通サービスの組み合わせ	
	・ 交通サービスの組み合わせの事例〔豊岡市〕	
	・ 公的負担の数値目標の設定	
	・ 評価と改善のサイクル	
	④地域公共交通計画策定時／見直し時のポイント	
	・ 地域公共交通計画の策定状況	
	・ 補助金をもらうためのアライバイの計画	
	・ 目次だけでも読み取れることは多い	
	・ 資料編の使い方〔久留米市地域公共交通網形成計画改訂版〕	
	・ 公共交通があるから住んでみたい街になる	
	・ 事業と目標の関係性	
	・ 「検討する」計画と「実施する」計画	
	・ 事業スケジュールと指標の設定	
	・ 実績値と評価の考察	
	・ 評価指標の捉え方	
	・ 計画策定に必要な要素	
	・ 地域公共交通のトリセツ（取組説明書）はじめました	
	・ 「地域で考える移動の仕組み8STEP」書きました	
	6 所感、提言事項 課題等	地域公共交通の取扱説明書ならぬ「取組説明書」を教えてくださいました。
		ステップ①現状を把握し、方向性を描く ②「移動手段」には何があるか
		を確認 ③合意を得るための土台づくり ④困っている人の量と質の把握
⑤サービスの「あたり」をつける ⑥具体的なサービスの設計 ⑦実施体		
制を構築する ⑧取り組みの評価と改善 以上の8ステップを進めるには		
実施主体、自治体、交通事業者、住民がそれぞれの行動リストを作成し、		
状況に応じた取り組みが必要です。ステップ①～③が「下準備」④がリサ		
ーチ⑤～⑦が設計と組み立てという感じで、サービス開始までには7つの		
ステップを踏まなければならない。サービスが開始されたら、⑧は評価と		
改善すべき点が見つかれば直していく必要が解ってくる。やはり真剣に		
取り組むには、数年の期間が必要であることが解る。		

# 会派視察・研修報告書

会派名 市民クラブ

代表者名 若尾敏之

1 日 に ち	令和7年8月5日(火) 10時00分～12時30分
2 視 察 先 研修名、主催者及び会場	研修名：「地域の足」が無くなる？交通空白解消セミナー 主催者：地方議員研究会 会場：リファレンス西新宿大京ビル2階
3 参 加 者	若尾敏之
4 調査研修の テーマ	～地域からバス、電車、タクシーが無くなる？ 今地方議員が取り組むべき課題～  ライドシェアと自動運転の基礎と課題
5 主な内容	<p>①ライドシェア（相乗り）のできること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路運送法による分類</li> <li>・日本版ライドシェア（自家用車活用事業）</li> <li>・ライドシェアのような「何か」</li> <li>・自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）の導入の経路</li> <li>・自家用有償旅客運送の現状</li> <li>・コミュニティバスの収支率</li> <li>・タクシー事業の定義と現状</li> <li>・事前確定運賃／相乗りタクシー</li> <li>・変動迎車料金／ダイナミックプライシング</li> <li>・デマンド運行のパターン</li> <li>・区域運行の事例〔三条市〕</li> <li>・AIにしたら便利になるのか？</li> <li>・ということのようだ（短期的には）</li> <li>・目的に合わせた輸送手段の選択</li> <li>・「交通空白」解消本部と官民連携プラットフォームの取り組み</li> </ul> <p>②自動運転（による旅客事業）の現在地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動運転を構成する要素</li> <li>・自動運転の技術レベル</li> <li>・自動運転の意義</li> <li>・自動運転の社会実装に向けた取組</li> <li>・自動運転の実用化に向けたロードマップ</li> <li>・導入事例〔伊那市〕</li> </ul>

5 主な内容	・導入事例〔境町〕
	・自動運転バスの受容性〔三田市〕
	・乗車・相対経験による受容意向の変化
	・乗車・受容意向の相反
	・受容すべき範囲
	・移動の仕組みの分類
	・移動の仕組みの分類（乗車人数比）
	・移動の仕組みの分類（輸送量比）
	・公共交通における魅力的品質と当たり前品質
	・技術実証 ⇄ 社会実証 ⇄ 社会実証
6 所感、提言事項 課題等	自動運転については、16m/秒つまり57.6km/時の速さで移動する車両を数cm単位で安全に制御する技術が必要である。
	技術レベルは、0～2までが「先進運転支援システム（ADAS）」で
	3～5が自動運転（AD）である。1・2は市販済みで、現在は4を目指し、意義としては100%の安全ではなくて現在よりも事故は減ること。
	自動運転の意義は①より安全かつ円滑な道路交通（交通事故の削減・交通渋滞の緩和・環境負荷の低減）21年の交通事故者数は2,636人で
	25年までに2,000人以下に目標を掲げている②より多くの人が
	快適に移動できる社会（運転の快適性向上・高齢者等の移動支援）であり
	ここまでが国交省（需要側）の視点である。これに経産省（供給側）の
	視点加わると③産業競争力の向上・関連産業の効率化が加わり、自動車
	関連産業の国際競争力・新たな関連産業の創出・運輸物流業の効率化が
	望まれる。しかし実態は、実証実験を見ても24年99か所が25年には67と激減しており、補助率の減少が原因と思われる。実装に目を
	向けると、車両1台あたりの導入コストは1億円を越え人件費に充当した
	方が効率的と言える。また事業費の多くが国の補助に頼っており、持続
	可能な取り組みとは言えない。
	自動運転による新しい移動手段は最初は魅力的だが、途中から当たり前になっ
	てしまうものもある。何故なら公共交通は安全で当たり前であり価値が不
	充足であるうちは満足度は低く、また充足しても満足とはならない。
自動運転もライドシェアも想像しているものとは少し違いそうなので	
地域に必要なものが何かを考えて取り組むことが重要である。	

# 会派視察・研修報告書

会派名 市民クラブ

代表者名 若尾敏之

1 日 に ち	令和7年8月5日(火) 13時30分～16時00分
2 視 察 先 研修名、主催者及び会場	研修名：「地域の足」が無くなる？交通空白解消セミナー 主催者：地方議員研究会 会場：リファレンス西新宿大京ビル2階
3 参 加 者	若尾敏之
4 調査研修の テーマ	～地域からバス、電車、タクシーが無くなる？ 今地方議員が取り組むべき課題～  交通崩壊の解決策としての地域公共交通への投資
5 主な内容	<p>①コロナが与えた地域公共交通への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ下の公共交通の維持</li> <li>・必要不可欠な移動が失われた影響</li> <li>・公共交通の輸送人員の変化</li> <li>・コロナによる行動変容</li> <li>・バス事業者の内部補助の実態</li> <li>・目に見える崩壊は始まっている</li> <li>・目に見えない崩壊も始まっている</li> <li>・公共交通維持のための3つのシフト</li> <li>・時間帯別運賃とダイナミックプライシング</li> </ul> <p>②交通事業者への支援と利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ下の自治体からの支援</li> <li>・継続的な支援の事例〔沼津市〕</li> <li>・コロナが終わったら終わりではない</li> <li>・事業継続に関わる広域支援の事例</li> <li>・事業の対象（効果が期待される人）の把握</li> <li>・事業の結果のどの部分に価値を置くか</li> <li>・乗車単位でのきっかけ作り</li> <li>・目先のお得と未来のお徳</li> </ul> <p>③地域公共交通のリ・デザインとデータ活用によるアップデート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通の再構築（リ・デザイン）</li> <li>・情報利用の流れと分析</li> <li>・運輸部門のCO<sub>2</sub>排出量と削減目標</li> </ul>



# 「地域の足」が無くなる？ 交通空白解消セミナー

## 東京

～地域からバス、電車、タクシーが無くなる？  
今地方議員が取り組むべき課題～

6月発表の骨太の方針2025  
『交通空白』解消本部設置  
により最新リニューアル

7/15  
火

8/4  
月

9/29  
月

10:00～12:30

### 「交通空白」と 地域公共交通の役割①

- ・用語の定義で役所に騙されるな
- ・人口減少と高齢化を数値で確認
- ・地域公共交通の定義と範囲のおさらい
- ・地域公共交通による地域の足対策と観光の足対策
- ・人口減少時代のまちづくりと交通の関係とは

7/15  
火

8/4  
月

9/29  
月

13:30～16:00

### 「交通空白」と 地域公共交通の役割②

- ・地域交通法の改正の歴史と意図
- ・競争どころではなくなった時代
- ・地域公共交通計画の突っ込みどころ
- ・自治体の役割の再確認
- ・議員に取り上げてほしい交通課題

7/16  
水

8/5  
火

9/30  
火

10:00～12:30

### ライドシェアと 自動運転の基礎と課題

- ・政府の交通空白解消本部の議論をおさえる
- ・日本版ライドシェアの全国展開？
- ・公共ライドシェア、日本版ライドシェア、乗合タクシー、コミュニティバス、デマンド運行の定義と役割
- ・自動運転ロードマップ
- ・DXG新しいモビリティサービス

7/16  
水

8/5  
火

9/30  
火

13:30～16:00

### 交通崩壊の解決策としての 地域公共交通への投資

- ・交通崩壊は既に始まっている
- ・ローカル鉄道の再構築に関する仕組みと支援例
- ・交通税導入の検討と財源策
- ・地域公共交通の利便性向上と利用促進
- ・地域公共交通への投資による再構築

講師

井原  
いはら

雄人  
ゆうと

早稲田大学 スマート社会技術融合研究機構 研究院客員准教授、  
合同会社ビジュアルライト 共同代表、  
早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科満期退学。博士（学術・早稲田大学）

大学における研究成果を実際の社会で活用することを目的に、  
電動バスや燃料電池車両の開発から、それらを活用した地域  
公共交通の計画策定や地域が主体となったコミュニティ交通導入を実施。



令和8年1月6日

多治見市議会議長

仙石 三喜男 様

会派名 市民クラブ

経理責任者名 若尾 敏之

(※) 本人が自署しないときは、押印してください。

## 政務活動費支出状況報告書 (10月～12月)

多治見市議会政務活動費の運用に関する規程第3条第3項の規定により、次のとおり政務活動費の支出状況を報告します。

記

番号	年月日	摘要	交付金額 (円)	支出額 (円)	残高 (円)
1		繰越金	111,550		111,550
2	2025/10/8-10/10	第87回全国都市問題会議参加旅費・負担金等 (宇都宮市)		82,390	29,160
3	2025/12/17	書籍購入費 3冊※①～③		15,070	14,090
4					
5					
6					
7					
計			111,550	97,460	14,090



※書籍購入費 ①自治六法 令和8年版 5,170  
 ②地方自治関係実例判例集 普及版 第16次改訂版 6,050  
 ③首長たちの戦いに学ぶ 災害緊急対応100日の知恵 3,850  
 15,070

令和7年10月31日

多治見市議会議長

仙石三喜男 様

多治見市議会 市民クラブ  
参加者代表 若尾 敏之

政務活動費の使用について（報告）

下記の研修会に参加し、政務活動費を使用したもので報告します。

記

1. 日 時 令和7年10月8日（水）～10日（金） 2泊3日
2. 主 催 全国市長会
3. 研 修 名 第87回 全国都市問題会議
4. 開催場所 ライトキューブ宇都宮
5. 参加者名 若尾 敏之 以上 1 名
6. 研修の概要 別紙のとおり（目的・研修結果・所感・資料等）
7. 費 用 82,390円（旅費額+負担金・振込手数料等）

（別紙支出明細一覧表添付）

旅 費 額	多治見市旅費規程による 旅費額（上限）	負担金・振込手数料等
56,840円	62,840円	25,550円

56,840円 ≤ <sup>上限</sup> 62,840円



令和7年10月31日

多治見市議会議長

仙石 三喜男 様

会派名 市民クラブ

幹事 若尾 敏之

## 調査（研修会）旅費支出明細一覧表

日 時	項 目	金 額
R7.9.11	会議参加費	12,000円
	視察参加費	13,000円
	宿泊費（ホテル・ザ・セントレ2泊） @12,000円	24,000円
	振込手数料	550円
R7.9.26	JR乗車券〔多治見駅 ⇒ 宇都宮駅〕 @ 8,360円	8,360円
	JR特急券〔名古屋駅 ⇒ 東京駅〕 @ 4,920円	4,920円
	JR特急券〔東京駅 ⇒ 宇都宮駅〕 @ 2,840円	2,840円
	JR乗車券〔宇都宮駅 ⇒ 多治見駅〕 @ 8,360円	8,360円
	JR特急券〔宇都宮駅 ⇒ 東京駅〕 @ 3,240円	3,240円
	JR特急券〔東京駅 ⇒ 名古屋駅〕 @ 5,120円	5,120円
合 計		82,390円

旅費規定による旅費額（上限）

62,840円

※領収書別添

# 研修会 行程表

- [1] 実施日 : 令和7年10月8日(水)～10日(金)
- [2] 参加者 : 若尾 敏之
- [3] 研修先 : ライトキューブ宇都宮
- [4] 研修名 : 第87回 全国都市問題会議
- [5] 行程 :

[10月8日(水)]

多治見駅	⇒	名古屋駅	⇒	東京駅	⇒
出 発	中央線	到着	出 発	到着	出 発
15:19		15:56	16:06	17:45	18:00

のぞみ 240

到着	出 発	やまびこ
17:45	18:00	153

宇都宮駅	⇒	ホテル
到着	出 発	到 着
18:48	18:50	19:10

徒 歩

[10月9日(木)]

ホテル	⇒	会場：ライトキューブ宇都宮			⇒	ホテル
出 発	徒 歩	到着	研 修	出 発	徒 歩	到 着
9:00		9:20	9:30 ~ 16:30	16:40		17:00

[10月10日(金)]

ホテル	⇒	会場：ライトキューブ宇都宮			⇒	視 察	⇒	
出 発	徒 歩	到着	研 修	出 発	バ ス	到着	出 発	バ ス
9:00		9:20	9:30 ~ 12:00	12:10		12:30	15:45	

宇都宮駅	⇒	東京駅	⇒	名古屋駅	⇒	多治見駅
到着	出 発	到着	出 発	到着	出 発	到 着
16:15	16:58	17:48	18:09	19:45	20:07	20:42

やまびこ 146      のぞみ 447      中央線

旅 費 明 細 ※旅費上限計算用

所 属 市民クラブ  
 氏 名 若尾 敏之  
 年 度 令和7年度

旅行先	栃木県宇都宮市							
用 務	第87回全国都市問題会議出席							
旅行期間	自	7	年	10	月	8	日	(水)
	至	7	年	10	月	10	日	(金) 2泊 3日

旅費区分	積 算 明 細							金 額
鉄 道 賃	多治見	～	名古屋	～	東京	～	8,360 円	
	宇都宮							
	宇都宮	～	東京	～	名古屋	～	8,360 円	
	多治見							
		～		～				
		～		～				
		～		～				
	小計	16,720 円×		1 人=	16,720 円		16,720 円	
特 急 急 行 料 金	名古屋	～	東京			4,920 円		
	東京	～	宇都宮			2,840 円		
	宇都宮	～	東京			3,240 円		
	東京	～	名古屋			5,120 円		
	小計	16,120 円×		1 人=	16,120 円			16,120 円
日 当	2,000 円×	3 日×		1 人=	6,000 円			
	円×	日×		人=	0 円			
	円×	日×		人=	0 円		6,000 円	
宿 泊 料	12,000 円×	2 泊×		1 人=	24,000 円			
	円×	泊×		人=	0 円		24,000 円	
船 航 空 賃 賃 賃	～		円×	人=	0 円			
	～		円×	人=	0 円			
	～		円×	人=	0 円		0 円	

<備考>

合計額	62,840 円
-----	----------

# お取引明細票

ご利用ありがとうございました

東濃信用金庫

広小路支店

お取引日時 2025/09/11 13:16

お振込 (振替) ¥49,000\*  
手数料 (ご依頼人負担) ¥550\*

お振込依頼内容

支店

-

お受取人 加)JTB 様

ご依頼人 000285タジミキカ シンクラブ 様

No. 002-E



駅-No 530512 領収書-No 15  
窓口-No 2

領 収 書  
多治見市議会  
市民クラブ 様

金額 ¥32,840円  
[消費税等込み・10%]

但し、乗車券類として

上記金額確かに領収致しました

2025年 9月26日  
東海旅客鉄道株式会社  
登録番号: T3180001031569

ご利用いただきましてありがとうございます

印紙税申告納  
付につき名古屋中村  
税務署承認済

多治見駅

現金出納社員

明細は様式⑦のとおり

収入印紙

領収証発行日: 2025/10/10

1 / 2

株式会社JTB 宇都宮支店  
〒320-0801  
栃木県宇都宮市池上町4-1 東栄ビル4階  
担当者: 支店長 鹿野 英克

領収証番号: 325391441000110001  
登録番号: T8010701012863

## 領 収 証

多治見市議会市民クラブ 様

下記のとおり領収いたしました。

領収額合計 ￥49,000 (税込)

イベント名 第87回全国都市問題会議

イベント会期 2025/10/09 ~ 2025/10/10

請求額合計	(税込)	内消費税/税区分	
	￥49,000	￥3,272	-
(10%対象)	￥36,000	￥3,272	-
(8%対象)	￥0	￥0	※1
(対象外)	￥13,000	￥0	※2

入金額 ￥49,000

請求残額 ￥0

- ※1 軽減税率適用
- ※2 消費税対象外商品

領収証備考

明細は次頁以降をご参照ください。



会議参加費 領収書

多治見市議会  
市民クラブ

様

金 13,000円

但、「第87回全国都市問題会議」に係る会議参加費として  
上記正に領収いたしました。

令和7年10月9日

第87回全国都市問題会議実行委員会  
会長 佐藤 栄



# 会派視察・研修報告書

会 派 名 市民クラブ

代表者名 若尾 敏之

1 日 に ち	令和7年10月9日(木) 9時30分～16時30分
2 視 察 先 研修名、主催者及び会場	研修名：全国都市問題会議 主催者：全国市長会 会場：ライトキューブ宇都宮
3 参 加 者	若尾 敏之
4 調査研修の テーマ	成熟社会の都市のかたち ～ コンパクトで持続可能なまちづくり ～
5 主な内容	<p>開会式</p> <p>基調講演：京都大学名誉教授 武井良典 氏</p> <p>人口減少・成熟社会のデザイン</p> <p>人口は2008年をピークに減少しつつある。人口増加の時代は東京へ集中したが現在は逆の流れである。何故なら若い世代のローカル志向つまり愛郷心が拡大している。従って若い世代を支援する施策が必要となる。地元の進学率が44%も表れの一つである。</p> <p>現在は一極集中から小極集中へ、そして多極集中へと変化している。</p> <p>主 報 告：栃木県宇都宮市長 佐藤栄一 氏</p> <p>宇都宮市の持続可能なまちづくり</p> <p>市域の約8割が平坦な地形という地域の特性を背景に、中心市街地から人口増加に伴ってまちを郊外に拡散してきた。市街地の外延化の進行により、都市機能や居住の密度低下が生じ、中心市街地の活力低下や空き家・空き地の増加、地域コミュニティの衰退などの問題が懸念されている。</p> <p>平成19年の第5次宇都宮市総合計画基本構想において、ネットワーク型コンパクトシティを長期的なまちづくりの方向性として全国に先駆けて位置づけされた。平成26年度に2050年を見通したネットワーク型コンパクトシティ形成ビジョンを策定し、市民と将来の年のイメージを共有し、理解と協力を得ながらまちづくりを進めている。</p> <p>減少人口10万人を5万人減にとどめ、100年先も発展し続けられるまちを実現するため、長期的な視点で取り組みを進めている。</p> <p>一般報告：東洋大学国際PPP研究所 南 学 氏</p> <p>「縮充」発想による公共施設マネジメント</p> <p>縮充とは小さくても充実していることである。資材費、人件費高騰の影響が出て財源が無い、すると手が付けられず老朽化が進む。そこで縮充が</p>


<p>5 主な内容</p>	<p>力を発揮する。公民館、体育館となると館で考えなければならず、大きい箱ものとして捉えなければならない。しかし用途や競技種目に合った部屋を作れば、目的別の施設として使用出来る。正に縮充である。それが一番適した施設と言えは小学校である。小学校の児童がいない時間に、他の団体が使用出来れば施設としての数を減らす事が出来、固定費削減にもつながる。</p> <p>一般報告 : 香川県高松市長 大西 秀人 氏</p> <p>都市縮小時代の持続可能なまちづくり</p> <p>丸亀町に見る都市の再生と自立性</p> <p>高松市長から丸亀町商店街再生のお話を聞きました。丸亀町商店街へは2度行政視察をしており、その実績を目の当たりにしてきました。それを裏付けるお話でした。</p> <p>コンパクトシティ（歩いて暮らせるまち）の取り組みは、類を見ない取組であり、ここの整備が町全体に広がっていった。</p> <p>一般報告 : 早稲田大学理工学術院教授 森本 章倫 氏</p> <p>次世代交通とコンパクトで持続可能なまちづくり</p> <p>人口減少社会において都市のコンパクト化は望ましい政策の1つであるが、現行の都市計画制度の中で効果的に機能するかは不明瞭な点が多い。</p> <p>コンパクト化政策を効果的に進めるためには、従来の都市計画制度に加えた立地誘導策が必要である。コンパクトシティを推進する交通戦略として、集約エリアでは徒歩を中心にウォークアブルなまちづくりを目指す。</p> <p>都市内の移動には次世代型路面電車システム（LRT）、快速バスシステム（BRT）、自動運転バスなどの定時制と利便性を備えた次世代公共交通を導入する。郊外部の非集約エリアでは自転車やパーソナルモビリティなどを活用しつつ、ライドシェアできる自動運転車を先行的に導入する。</p> <p>子どもや免許を返納した高齢者の日常の足となるロボットタクシーとしての活用が期待される。郊外に住む人の移動手段を確保しつつ、都心部を魅力的な空間へと再生できるかが重要である。集約エリアを新しい居住地として選択する人が増えればコンパクト化は徐々に進行する。</p>
<p>6 所感、提言事項 課題等</p>	<p>諸先生のお話を聞くことが出来ました。特に印象に残ったのが、宇都宮市の佐藤栄一市長のお話でした。やはり、実践に伴う話は真実味にあふれ、苦勞された点、100年先を見据えた施策をお聞き出来たのは我々が、取り組む姿勢の目安となると感じました。また、人口減少に対して少しでも緩和する取り組みも大切な事と理解しました。</p>

# 会派視察・研修報告書

会派名 市民クラブ

代表者名 若尾 敏之

1 日にち	令和7年10月10日(金) 9時30分～12時00分
2 視察先 研修名、主催者及び会場	研修名：全国都市問題会議 主催者：全国市長会 会場：ライトキューブ宇都宮
3 参加者	若尾 敏之
4 調査研修の テーマ	①成熟社会の都市のかたち ～ コンパクトで持続可能なまちづくり ～
5 主な内容	<p>パネルディスカッション</p> <p>コーディネーター： 埼玉大学大学院教授 内田奈芳美 氏</p> <p>成熟社会の中で現実的なコンパクトシティのあり方と接続可能な公共サービスの提供について、ウォークブルなまちづくりの実践と移動自体を楽しむことが、機能的充足性+分配的合理性+感情的納得性を生み出す。移動をしたい時に移動が出来、幸せな生活を送れる為にはどうしたら良いかなどの疑問を解決していく事が重要である。</p> <p>パネリスト： 関東自動車社長 吉田 元 氏</p> <p>国の重点施策となっている「コンパクト・プラス・ネットワーク」によるまちづくりは、拠点を面的に再編し、公共交通で結ぶことにより利便性と持続可能性の両立を目指すことである。このようなまちづくりは、交通事業者と行政の協力が不可欠であり、地域の生活拠点（居住・就業・医療・福祉など）と交通を一体として整備することで誰もが安心して移動出来る環境を整備することが出来る。公共交通は生活を維持する「生命線」であり、移動手段の確保は地域における「暮らしの質」の根幹を成している。持続可能なまちづくりには交通分野での脱炭素化も重要で、自家用車依存からの転換が求められている。</p> <p>パネリスト： まちなか広場研究所主宰 山下 裕子 氏</p> <p>「いくつになっても」「出かけていけ」「出かけたがい」都市について事例をいくつか挙げられました。</p> <p>★青森県八戸市・毎週日曜日 館鼻岸壁朝市</p> <p>日本最大級（約300店舗）が立ち並ぶ朝市</p> <p>歩行補助車を愛用しながら自らの足で自宅から出掛け、顔見知りとおしゃべりし、見ず知らずの旅人ともふれあい、品物が売れてお小遣いができたら自分の欲しい物を購入して帰宅する。</p> <p>★鳥取県米子市皆生 ぐるぐるかいけ</p>

<p>5 主な内容</p>	<p>60mグリッドで歩きやすく整備された信号が無い、自転車やベビーカーや散歩するなど移動形態が異なっても一定のゆっくりとした速度での往来が盛んである。</p> <p>★鳥取県米子市循環バス      だんだんバス</p> <p>米子駅から米子駅まで（どこにも行かない）150円で50分、車内はエアコンが効いていて歩くには勇気のいる距離をゆっくり巡る。</p> <p>★滋賀県甲賀市      杉川夏まつり</p> <p>パネリスト：北海道室蘭市企画財政部長 高橋 知規 氏</p> <p>有数の工業都市である室蘭市は最盛期は16万人有った人口も現在は7万4千人と激減している。学校の統廃合も半減する中、「コンパクトなまちづくり」を目指し立地適正化計画で2つの中心市街地を都市機能誘導区域として設定し、重点的に整備・活性化を図るなど、医療・福祉・商業施設の誘致や整備を進めている。</p> <p>パネリスト：鳥取県米子市長 伊木 隆司 氏</p> <p>バイパスの開通で郊外に人が流れたことで中心市街地の衰退が始まった。そこで公共交通の利便性向上と徒歩でも移動出来る街を作り直す事がまちづくりに大切であるとの認識から「歩いて楽しいまちづくり」を展開するようになった。米子駅の改修によるアクセス性の向上策や、まちなかウォークブル推進事業によるハード整備と商店街によるイベント開催などのソフト事業を組み合わせ、中心市街地を「歩いて楽しいエリア」と感じてもらえるような取組を進めている。</p>
<p>6 所感、提言事項 課題等</p>	<p>まちなかの「パブリック・ライフ」の再考：成熟社会におけるコンパクトな都市を考える上で、をテーマに埼玉大学の内田教授がパネリストとなり4人のパネラーの方が、それぞれ意見を述べられました。</p> <p>関東自動車の吉田社長からは具体的なお話を聞き、まちなか広場の山下主宰からは事例を交えたわかりやすい情報をお聞かせ頂きました。室蘭市の高橋部長と米子市の伊木市長からは具体的なお話で、特に伊木市長からは歩いて楽しいまちづくりについてお聞きしました。</p>
<p>7 写真等</p> <p>※視察の場合は必須 研修の場合は任意</p>	

# 会派視察・研修報告書

会派名 市民クラブ

代表者名 若尾 敏之

1 日にち	令和7年10月10日(金) 13時45分～15時45分
2 視察先 研修名、主催者及び会場	研修名：全国都市問題会議 主催者：全国市長会 会場：表参道スクエア、日環アリーナ栃木
3 参加者	若尾 敏之
4 調査研修のテーマ	行政視察 プロスポーツチーム連携事例
5 主な内容	<p>プロバスケットチーム、宇都宮ブレックスの藤本社長から、チーム結成からの歩み、現在の活動状況などをお聞きしました。</p> <p>宇都宮ブレックスはBリーグで昨年3度目の優勝をされており、全国的にも有名なチームです。社長からは立ち上げの時の苦勞（特に市民への周知）をお聞きしました。丁寧な説明と実績から今では多くの市民から愛されホームだけでなく、アウェーでも多くの市民が駆けつけてくれるそうです</p> <p>講和後、ブレックスアリーナ宇都宮を見学させて頂きました。</p> <p>とても広大な敷地内に立派なアリーナはまさに日本を代表するチームが試合するに相応しい会場でした。</p> <p>会場では次の日行われる公式戦に向けて、選手は調整、スタッフは準備に忙しく動いておられました。</p>
6 所感、提言事項 課題等	<p>私が今回視察させて頂いた理由は、全国で戦うチームを企画運営するノウハウや、規模について目の当たりにしたいという気持ちが有ったからです。最初は苦しかった立ち上げも後に市民に愛されるチームに育てる為のご苦勞をお聞き出来たのは大変な収穫でした。</p> <p>現在、多治見市にはJリーグ参入を目指したチームが立ち上がり、日々努力しています。我々はこのようなチームの為に何が出来るか、また何をすれば良いのか模索中です。そういった意味では、まだまだ先の話ではありますが、一筋の光明が見えた気がしました。</p> <p>特に地域との関わりについては、当初の苦勞が報われると信じて邁進する気持ちが大切だと感じました。</p> <p>この視察には、多くの市長も参加されており、桑名市の伊藤市長とは市に持ち帰る良い懇談が出来ました。</p>

7 写真等  
※視察の場合は必須  
研修の場合は任意



# 請 求 書

多治見市議会 市民クラブ 若尾敏之

様 令和 7 年 12 月 11 日

登録番号：T1010001100425

東京都江東区新木場1丁目18番11号(〒136-8575)

株式会社きょうせい

代表取締役 西本 功二

下記のとおりご請求いたします。

令和7年12月11日分

ご請求額	¥15,070.-	お得意様No. (請求No.)	70-7267993 (512189176)
内消費税10%	¥1,370.-		

お支払は 令和 8 年 1 月 10 日までにお願いします。

品 名	追録号数	数 量	単 価	金 額	備 考
自治六法 令和8年版 地方自治関係実例判例集 普及版第16次改訂版		1	5170	5170	
首長たちの戦いに学ぶ 災害緊急対応100日の知恵		1	6050	6050	
		1	3850	3850	

(振込先) [銀行名] (001)  
 [口座名] 預金 [口座名] カギヨセイ  
 (要打電項目) 512189176 カオトシキ

01250105531  
( 21)

振替払込請求書  
兼受領証

通常払込料金  
加入者負担

加入者名: 株式会社きょうせい

金額: 15070

振込先: [銀行名] 支店

〒 [郵便番号] [市区町村] [支所] [番地] [ビル名]

〒 [郵便番号] [市区町村] [支所] [番地] [ビル名]  
 岐阜県多治見市  
 若尾 敏之

要打電項目: 512189176 様  
 この受領証は、大切に保管してください。(C/S店発行)

日 附 印  
 07-12-17  
 印 T101000111  
 2730 ムウヂョ

現金扱  
 (24347-) N94230004

令和8年3月31日

多治見市議会議長

仙石 三喜男 様

会派名 市民クラブ

経理責任者名 若尾 敏之

(※) 本人が自署しないときは、押印してください。

### 政務活動費支出状況報告書（1月～3月）

多治見市議会政務活動費の運用に関する規程第3条第3項の規定により、次のとおり政務活動費の支出状況を報告します。

記

番号	年月日	摘要	交付金額（円）	支出額（円）	残高（円）
1		繰越金	14,090		14,090
2	R8.3.26	コピー代		72	14,018
3					
4					
5					
6					
7					
計			14,090	72	14,018





交付金 (6/30) 208,000 市民クラブ (1人)

208,000

研究研修費	調査活動費	資料作成費	資料購入費	広報費	その他政務活動	合計	残高
8/4~5 研修旅費・負担金 等 (東京都)	96,450	3/26 コピー代	12/17 書籍3冊 自治六法 地方自治関係実例判例 72集	15,070		111,592	
10/8~10 第87回全国都 市問題会議参加旅費・負 担金等 (宇都宮市)	82,390		首長たちの戦いに学ぶ 災害緊急対応100日の 知恵			82,390	

178,840 0 72 15,070 0 193,982 14,018 確定執行率→ 93.26

交付金額	支出額	残額
4~6月	0	208,000
7~9月	96,450	111,550
10~12月	97,460	14,090
1~3月	72	14,018
	193,982	14,018